

事務事業名	森林バイオマスエネルギー事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグループ	課長名	高野耕治
施策名	(34) 林業の振興	担当者名	佐藤伊知郎	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3704
基本事業名	(100) 木材生産の拡大	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 110 115 019	バイオマス実証実験事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (23年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	市内施設においてチップボイラーを整備し、現状のボイラーで利用する化石燃料(灯油等)を木質バイオマス由来燃料(チップ)に転換する。これにより、施設の運営経費の節減を図るとともに、チップの原料として市内森林の林地残材を利用することにより、更なる森林の整備・適正な管理が図られ、新たな林業需要が創出される。	平成23年度に地域活性化総合特区「たたら」の里山再生プロジェクト」の指定を受ける。この中の取り組みとして「里山のエネルギー利用の推進」を掲げており、木質バイオマスエネルギー等再生可能エネルギー事業の推進を行うことにしている。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
・ボイラー燃焼試験 1,398千円 ・残材搬出モデル(大原・飯石) 1,102千円 ・残材収集システム報告書 500千円 市民参加型林地残材収集システムの実証試験データ収集収集コストの分析	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円				24,200		
	地方債	千円				24,200		
	その他	千円			3,000	3,000		
	一般財源	千円				4,055		
事業費計 (A)	千円		0	0	3,000	55,455	0	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
①業務委託の発注 ②業務完了検査	正規職員従事人数	人			4			
	延べ業務時間	時間			100			
	人件費計 (B)	千円	0	0	394	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	3,394	55,455	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	バイオマス実証実験 3,000千円	ア 事業登録者	人			0	40	80	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 市民参加型収集材積	m³			0	300	1,000	
	バイオマス関連施設の整備 市民参加型収集運搬システムの確立	ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	雲南市内の森林	⑥ 対象指標							
		ア 雲南市森林面積	ha	43,792	43,778	43,803	43,803	43,803	
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	適正な管理をする。	ア 木材生産量	m³	7,626	5,273	10,073	10,000	10,000	
		イ 市有林の整備面積	ha	23	15	8	8	8	
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	木材生産量を拡大する。 森林を適正に保全する。	ア 木材生産量	m³	7,626	5,273	10,073	10,000	10,000	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
東日本大震災の発生以降、これまで以上に地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの利用促進が図られるようになった。	バイオマス施設の導入に向けて、バイオマスエネルギーの実証実験に取り組んだ。	公共施設の維持管理経費の削減が必要とされている。

事務事業名	森林バイオマスエネルギー事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 本事業を実施することで、市内の森林の適正な保全につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市として里山のエネルギー利用の推進を取り組むことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、市内の森林であり、その適切な管理を行う意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 県・公社の予算不足により、現状では100%の対応ができていない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 再生可能エネルギーによる循環型社会の構築には継続は不可欠である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 施設規模に応じた事業費を計上しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 定められた業務を適切に実施しており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内全域の森林を対象として実施しており公平である

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度実施した実証実験により、市民参加型の収集運搬システムの運用に見通しが立ったことから、公共施設へのチップボイラー導入が可能となった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							